



研究テーマ

- 1 へき地・小規模校における学校や授業のあり方に関する研究
- 2 小中一貫教育・義務教育学校のカリキュラムマネジメントに関する研究
- 3 総合的な学習（探究）の時間を中心とした地域に関する学習の研究



遠藤 宏美

えんどう ひろみ

教育学部
学校教育

准教授

キーワード

へき地校、小規模校、小中一貫教育、義務教育学校、カリキュラムマネジメント、総合的な学習の時間、教育課程、学校文化、コミュニティスクール

特許情報・
共同研究・
応用分野など

研究概要

人口減少が進む地域における学校のあり方や、子どもたちが大人になるうえで有意義な学びについて研究をしています。

具体的には、児童生徒数の減少が著しいへき地・小規模校における教育や、宮崎県で多く取り組まれている小中一貫教育をテーマに、主にカリキュラムマネジメントの視点から研究を行っています。またこれらに関連して、総合的な学習（探究）の時間を中心とした地域に関する学習や、その学習を通して育まれる資質・能力、地域づくりにも関心を持っています。

さらには、これらの教育を担う教員養成の在り方にも関心があり、大学で実践に取り組んでいます。

1 へき地・小規模校における学校や授業のあり方に関する研究

児童生徒数の減少が著しいへき地・小規模校ではどのような学校や教育が望ましいのかを明らかにしたいと考えています。また、そのような教育は児童生徒にどのような資質・能力を身に付けさせたり、結果として地域社会にどのように貢献したりすることができるのかを探究しています。

また、へき地校・小規模校に多い複式指導については実践例が少なく、複式学級の担任には戸惑いや負担が大きい反面、経験した後の先生方の力量は高まると思われまます。教員としての職能形成・向上とともに児童生徒の力を育む複式指導についても考えています。

2 小中一貫教育・義務教育学校のカリキュラムマネジメントに関する研究

義務教育の目標を達成するための、小学校と中学校との望ましい連携の在り方を研究しています。教科等のカリキュラムの一貫性・系統性はもちろん、教員文化の違いを乗り越えて新しい学校文化を創造することや、それに資する学校経営や教員研修の工夫など、関心は多岐にわたります。これらを一言で表現するなら、カリキュラムマネジメントと言えるでしょう。

さらに、小中一貫教育の最終形態ともいえる義務教育学校は、いわゆる小中一貫校と何が違うのか、課題は何か、あるいは義務教育学校の特性を活かした義務教育とはどのようなものかも探っています。

3 総合的な学習（探究）の時間を中心とした地域に関する学習の研究

総合的な学習（探究）の時間の目標と内容は、各学校の教育目標を踏まえて定められるものであり、各学校の地域性を踏まえた特色のあるカリキュラム編成が可能です。そのような、教科等を超えた横断的・総合的な学習、とりわけ地域に関する学習を通じて、児童生徒に何を学ばせ、どのような資質・能力を育成するのか、そのことは地域にどのように貢献することが期待されるのかを研究しています。

また、小・中・高校を通じた一貫性のある学習とはどのようなものか、総合的な学習（探究）の時間の特徴でもある「探究」とは何かを、実践事例から探っています。

ホームページ

技術相談に応じられる関連分野

メッセージ

現場に出向き、ご関係の方々と対話をしたり、実際の様子を観察させていただいたりしながら、一緒に課題解決に取り組んでいくのが、私の研究のスタンスです。